熊谷市
記者クラブ取材情報

令和　3年7月26日発表
担当課:東部地域開発推進室

タイトル

（仮称）道の駅「くまがや」 市内事業者向け説明会開催

1. 日時　令和３年８月２３日（月）
2. 場所　熊谷市立商工会館
3. 事業概要

（仮称）道の駅「くまがや」は、本市初のＰＦＩ事業による整備運営を予定しており、本年度からの２か年度でＰＦＩ事業者を募集・決定していきます。今回はその募集に先立ち、下記のとおり、市内事業者様向けに説明会を開催します。
なお、本説明会で事業者･テナント･商品の募集を行うものではありません。

記

【開催目的】
・（仮称）道の駅「くまがや」を知っていただく事
・ＰＦＩ事業の仕組みを御理解いただく事
・本事業への参画意欲の向上を図るとともに、事業者間の繋がりを持っていただく事

【募集要項】
日時：令和3年8月23日（月）　第1回13時30分から14時30分･第2回15時30分から16時30分
会場：熊谷市立商工会館　２階大ホール
内容：概要・事業手法・スケジュールなど
対象者：熊谷市内で事業を営んでいる・今後営むことを検討している方
申込期間：７月２６日（月）～８月１９日（木）
申込方法：市ホームページの応募フォームにて
※右ＱＲコードから市ホームページをご覧ください
注意事項：感染症対策のため、事前予約制（原則１事業者１名）とします
応募多数の場合は抽選により時間を指定させていただきます
その他：本説明会の資料・質問回答内容は、後日、市ホームページに掲載します

4. 特徴やPRポイント
・本市初のＰＦＩ事業である
・市民が誇れる、みんなで作る道の駅を目指し、より多くの市内事業者の参画を期待

5. その他
【ＰＦＩ事業者公募スケジュール】
令和3年9月下旬　実施方針・要求水準書（案）公表
令和3年10月13日（水）ＰＦＩ事業予定者向け説明会　会場　熊谷市立商工会館
令和4年4月から8月　事業者公募（検討期間約5か月）
令和4年10月　プレゼンテーション実施
令和4年12月　事業予定者公表
令和5年3月下旬　市と事業者で契約締結

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　東部地域開発推進室　備前島　弘賢
連絡先　048-524-1111（代表）内線532

（仮称）道の駅　「くまがや」　概要

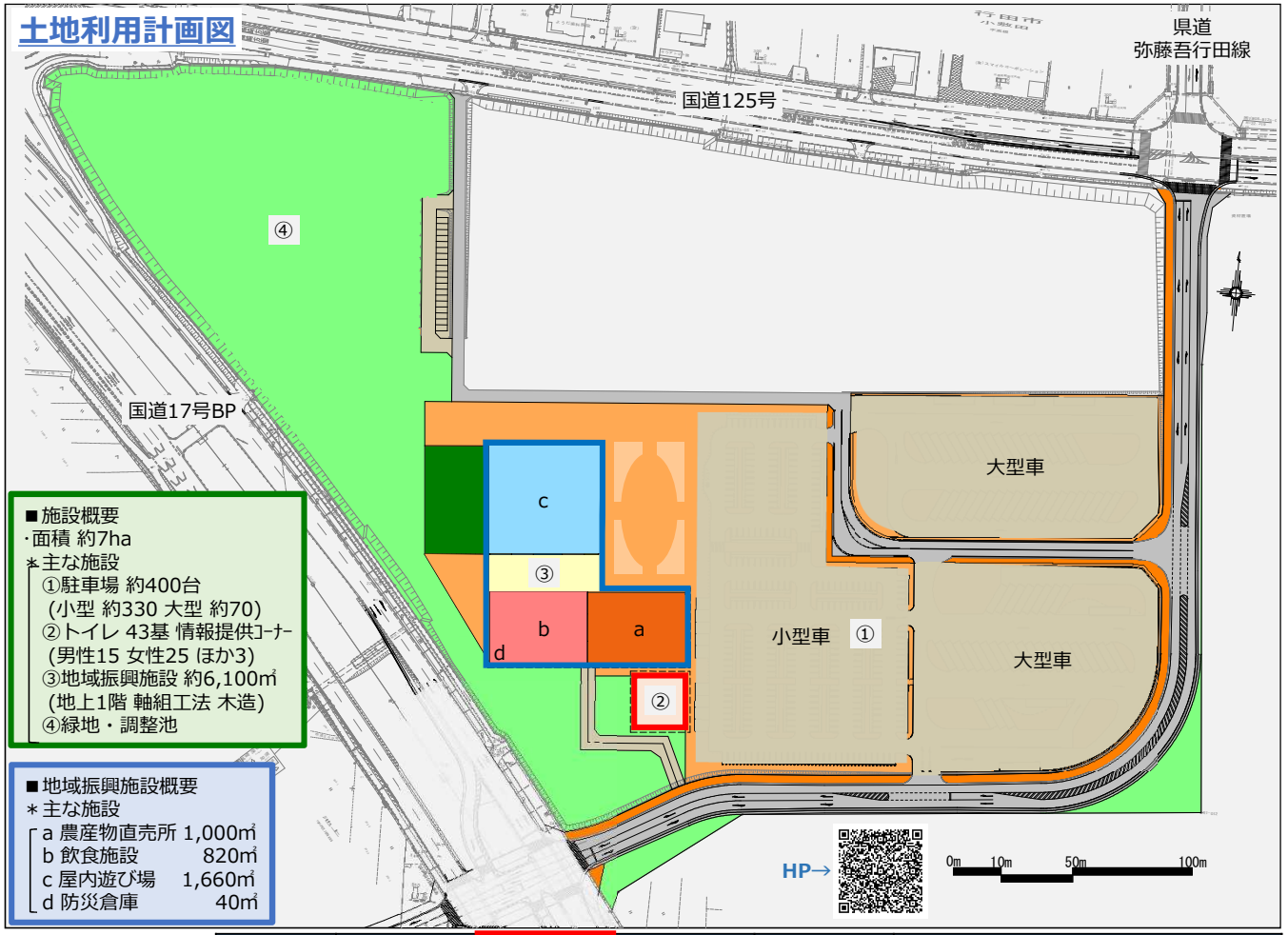
R3.7(ver 2.1)

※関係機関との協議などにより変更となる場合がございます

位置図



土地利用計画図



■施設概要
・面積 約7ha
＊主な施設
①駐車場 約400台
(小型 約330 大型 約70)
②トイレ 43基 情報提供ｺｰﾅｰ
(男性15 女性25 ほか3)
③地域振興施設 約6,100㎡
(地上1階 軸組工法 木造)
④緑地・調整池

■地域振興施設概要
＊主な施設
a 農産物直売所 1,000㎡
b 飲食施設 820㎡
c 屋内遊び場 1,660㎡
d 防災倉庫 40㎡

道の駅の機能

■休憩施設(24h)
・道路利用者の駐車場
・トイレ

■情報提供施設(24h)
・道路情報提供ｺｰﾅｰ

■地域振興施設
・農産物直売所
・飲食施設
・室内遊び場
・農園,駐車場ほか

■防災機能

「くまがや」のコンセプト

日本を代表する
“食”のテーマパーク

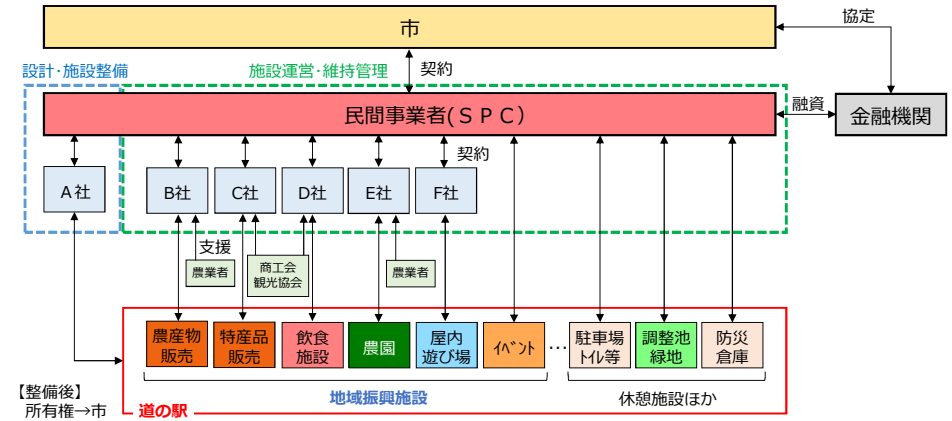
施設整備の方針

食 × 子ども

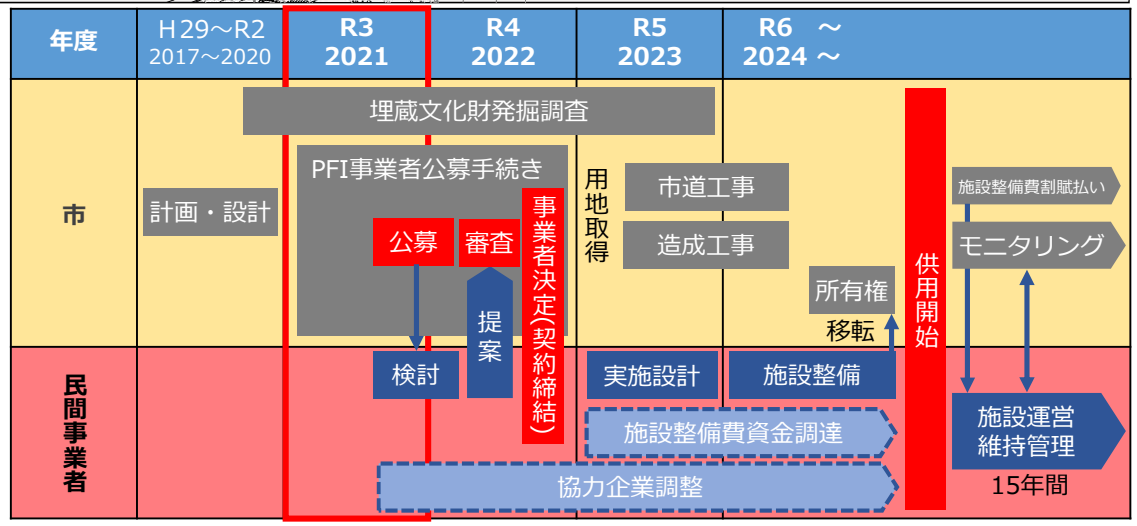
施設整備･施設運営･維持管理

民間の資金やノウハウを活用

※地域振興施設の事業手法(PFI-BTO方式)　イメージ



スケジュール



日本を代表する
“食”のテーマパーク

（仮称）道の駅「くまがや」 食×子ども＋おとな プロジェクト　第３弾



――募集要項――

１．対象者（下記のいずれかを満たす方）
＊熊谷市にお住まいの方
＊熊谷市を好きな方

２．募集期間
＊令和3年7月26日(月)～令和3年8月31日(火)
★消印有効

３．募集内容
①テーマ 熊谷市のおいしいエピソードや思い出
②条件（以下のいずれかを満たすもの）
＊熊谷市の歴史・文化・風景を感じるもの
＊熊谷市の農作物・食材に関するもの
＊熊谷市に本店がある・あった店に関するもの
③字数　１００字程度から（上限３００字）

４．応募方法
＊郵送または市ホームページから

５．優秀作品の発表
＊１０月以降、市役所ホール・市ホームページなど
＊一部は市報や記者発表などの広報活動に活用

６．参加賞
＊募集内容を満たしている方に進呈

問い合わせ先
〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地１
熊谷市役所　7階　東部地域開発推進室
ＴＥＬ　048-524-1111（内線532）

←応募フォーム

前回の作品→

※注意事項 ＊作品の採用や選定は市に一任させていただきます。
＊公序良俗に反するもの・好ましくない表現・宣伝のようなものは採用を控えさせて頂く場合がございますのでご了承願います。

↓↓前回の応募作品のほんの一部なんだにゃ♪↓↓

●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が●

子供の頃、いなり寿司と言ったら聖天様の境内にある「聖天寿し」だった。長くて大きないなり寿司に、大きなかんぴょう巻き。甘めの味付けが大好きで、母が買ってくると大喜びしたものだ。

結婚し、熊谷から離れてもふと食べたくなる。

そうして、思い出す。春と秋に行われるお祭りは、お小遣いを貰ってワクワクして行った。人の少ない時でも、聖天様はいつも、絢爛豪華な姿で私達を迎えてくれた。今はコロナで帰省もままならない。だけど、子供と一緒に実家に帰った時はまた買おう。

あんな大きないなり寿司他ではまず見ないから、絶対に驚くだろうな。

良い天気だったら。利根川の土手で三つのお店の味を食べ比べしようか。子供と一緒に。（とと）

●ごくり！熊谷のおいしいごちそう達！！●

「熊谷に美味しいうどん屋さんがあるらしいよ」そう聞いたのは、まだ運転免許を取り立ての二十歳前の時。食いしん坊の友達を誘い、買ったばかりの車で初めての遠出。

今思えば、カーナビがあるわけでもなく、インターネットがこんなに普及していない時代に、よく地図を片手に初心者マークの付いた車で行こうと思ったものだ。若さは時に無謀過ぎる。

でもあの時、ようやくたどり着いたうどん屋さんで、口にしたうどんの美味しかったこと。今では、熊谷市が結構近い場所に感じられる程には運転が上達して、何度もうどんを食べに通っている。私の中では紛れもなくナンバーワンのうどんは熊谷市にある。（光倫）

●みんな大好き熊谷スイーツ”五家宝”●

私の家族の思い出に残るおかしは、「五家宝」です。五家宝は、昔ながらできているおかしなので、お母さんやお父さん、さらにおじいちゃんやおばあちゃんも五家宝が大好きなので、いつものように五家宝を家族で食べています。

すごくおいしくて、そんなに甘くもないのでちょうどいい味で、米ときなこでできているのでさっぱりしている味です。熊谷の名物としてすごく人気のあるおかしなので大人から子どもまでおいしく食べることができます。

2021年をむかえ、わたしの家族で五家宝ランキングをきめるため、いろいろなお店の五家宝の食べ比べを始めました。どの五家宝の味が一番になるのか今から楽しみにしています。（奈良っ子217）

●みんな知ってる？熊谷の名店！●

県立熊谷女子高校の向かいに、出川屋さんという和菓子店がありました。

「熊女（くまおんな）」を自称し高校生活を謳歌する生徒達にとって、出川屋の一番人気だった苺大福は、みんなが大好きな熊女名物とも言える思い出の味です。

ふっくら柔らかな大福にこれでもかと大きな苺が贅沢に包まれて、溢れる甘さと苺の香り。

放課後に友達と買って帰ったこと、卒業して県外の大学に進学する時には後輩が苺大福をくれたこと。熊谷で暮らしたのと同じくらいの年月を県外で過ごしてきた今も、出川屋の苺大福が食べたいなぁと思う、大切な青春の味です。

（かんかん）